

生物研究

第Ⅵ卷 第4号

1962

THE LIFE STUDY

Vol. VI, No. 4

December 15, 1962

FUKUI, JAPAN

目 次

報 文

- キングチバチ亜科3種の生態観察 羽田 義・任 ... (57)
福井地方の葉蜂類(1) 富樫 一 次 ... (64)
アカゴシベッコウの変った造巢活動について 西野 一 朗 ... (66)
白山および山麓地方の注目すべき昆虫類 富樫 一 次 ... (71)

短 報

- 石川県のキスジツチスガリ 富樫 一 次 ... (63)
マエダテツチスガリの新産地 富樫 一 次 ... (63)
キアシハナダカバチモドキ能登に産す 富樫 一 次 ... (65)
石川県のイカリモンハンミョウ 武 藤 明 ... (65)

研究手引

- 蜂類研究手引(16) 日本昆虫図鑑あなばち科学名訂正 常木 勝 次 ... (70)

会 記

- 採集会等記事 (72)
会 員 消 息 (72)

THE LIFE STUDY (Vol. VI, No. 4, 1962)

- Haneda, Y. Biological observations on three species of Crabroninae (Hym., Sphecidae) ... (57)
Togashi, I. Saw flies from Fukui and district (Hym., Symphyta) (64)
Nishino, I. On the strange nesting habits of *Pompilus reflexus* Smith (Hym., Pompilidae) ... (66)
Togashi, I. On some remarkable insects from the district of Mt. Haku (71)

会

規

生物学の同好者は、誰でも本会に入会することが出来る。

本会は、適宜談話会(当分年二回)を開き、また採集会を行う。

本会は会誌を年4回発行し、会員は自由にこれに寄稿することが出来る。

入会の希望者は、郵便連絡地(勤め先または住所)を明記の上、福井市牧の島町福井大学
学芸学部神谷寛之宛年額350円の会費を添えて申込みたい。

を、先生の御指導を得て、今後つづけていきたいと思っている。

文 献

1. 常木勝次 (1946) 狩人蜂 pp. 142-238.
2. Tsuneki, K. (1950) Experimental analysis of the sensory cues working in the return to the nest of the Pompilidae (solitary Hymenoptera). Ann. Zool. Jap., 23 (2), pp. 75-84.
3. 安松京三 (1944) 古川晴男編, 昆虫 (研究社) の中 p. 468.

蜂類研究手引 (16)

(6) 日本昆虫図鑑あなばち科学名訂正

常木勝次

A Guide to the Study of the Japanese Hymenoptera (16)

(6) Correction of the Scientific Names of Some Sphecine Species appeared in Iconographia Insectorum Japonicorum, Ed. II.

北隆館日本昆虫図鑑に記載された有刺膜翅類の中には学名の訂正を要するものが散見される。今回はその中から Sphecidae に属するもののみについて述べる。

1. マルモンツチスガリ *Cerceris japonica* Ashmead → *Cerceris rybyensis* Linné (or *C. rybyensis japonica* Ashmead).

2. ツチスガリ *Cerceris harmandi* Pérez → *Cerceris hortivaga* Kohl.

3. キスジツチスガリ *Cerceris quinquemaculata* Ashmead → *Cerceris arenaria* Linné.

4. キスジジガバチ *Gorytes tricoloratus* Pérez → *Gorytes eous* Gussakovskij.

G. tricoloratus は胸部に黄斑なく腹部の黄帯も3条である。なおこの類については近く本誌で解説する。和名はジガバチの仲間と誤解され易いのでアワフキバチと改称する予定である。

5. オオキスジジガバチ *Gorytes grandis* Guss. → *Argogorytes mystaceus* Linné (or *Argogorytes mystaceus grandis* Gussakovskij).

6. フタモンキスジジガバチ *Gorytes bilunulatus* Costa → *Lestiphorus bilunulatus* Costa (or *L. b. yamatonis* Tsuneki)

7. ヤマトハナダカバチモドキ *Bembecinus* (!) *japonicus* Sonan → *Bembecinus hungaricus* Frivalzky. *Bembecinus* が正しい。

8. ジガバチ *Ammophila infesta* Smith → *Ammophila sabulosa* Linné (or *A. sabulosa infesta* Smith).

9. キゴンジガバチ *Sceliphron tubifex* Latreille → *Sceliphron madraspatanum* Fabricius.

10. クロアナバチ *Sphex umbrosus* Christ → *Sphex argentatus* Fabricius (or *S. argentatus fumosus* Mocsary)

本誌5号のアナバチ手引およびⅥの1, 奄美の蜂のリストの中で *fumosus* Kohl としたのは誤りで命名者は Mocsary となる。

11. クロヒメトガリアナバチ *Motes docilis* Smith

この記載は不十分でよく分らぬが, *Motes japonicus* Kohl のように思われる。ただし翅の色は *M. tisi- phone* Smith に近いようだが, これとは大きさが異なる。

12. スカトガリアナバチ *Nitela spinolae* Latreille → *Nitela yasumatsui* Tsuneki.

13. ヤマトチビアナバチ *Psenulus lubricus* Pérez → *Psenulus pallipes* Panzer (or *P. pallipes yamatonis* Tsuneki).